

コロナ禍で求められるのは健康経営

Invest in Health

インベストインヘルス 2021.4号

ウィズコロナ時代の健康経営のススメ

コロナ禍で 社員を守るには

免疫力低下はコロナ禍での大きなリスク

がんを早期に発見する PET-CT

公益社団法人福井県法人会連合会様

公益社団法人福井法人会様

公益社団法人小浜法人会様

公益社団法人敦賀法人会様

公益社団法人奥越法人会様

公益社団法人南越法人会様

公益社団法人坂井法人会様

優待ガイド

produced by

福井県済生会病院

生活習慣病で重症化する 新型コロナウイルス感染症

感染しても症状のない軽症の人もいれば、急速に重症化する人もいる新型コロナウイルス感染症。これまでの臨床データにより、年齢や基礎疾患の有無によって致死率が違うことが明らかになっています。

国立感染症研究所では国内の患者情報を解析したレジストリ研究において、年齢別の致死率を公表し、高齢者では年齢が高くなるほど重症化しやすく、とくに基礎疾患のある高齢者では致死率が高くなることを示しました。また、中国で公表された基礎疾患ごとにみた致死率の違いからも、重症化の要因に生活習慣病が関わっていることがわかります。

感染症の拡大によって、これまでとは異なる新しい生活様式が生まれ、人々の健康への意識がますます高まるなかで、従業員の健康を守ることは企業永続のカギを握る最重要課題ではないでしょうか。

健康投資で見えてきた

社員の健康と企業業績との関連

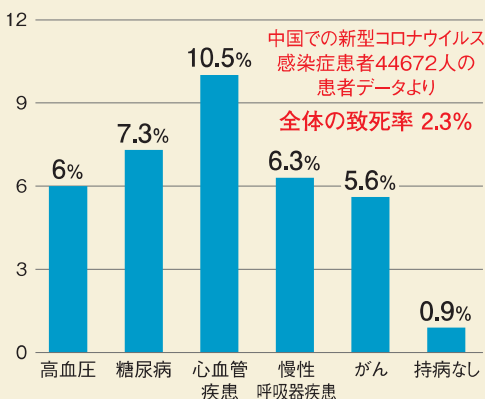
人材不足が深刻化していく時代、社員が長く働き続けられる会社を実現することは企業にとってきわめて大切です。

健康投資と企業業績との関連を示すデータがあります。健康経営を開始した年を「0」とした場合の売上高営業利益率の平均値を比較したところ、開始する前の5年以内では負のスコアを示し、利益率が低い状況であることを反映する一方で、健康経営を開

ウィズコロナ時代の健康経営のススメ コロナ禍で 社員を守るには

人々の生活を大きく変えた新型コロナウイルス感染症。
コロナ禍でも社員のモチベーションを維持し、健康を守るためにできることを考えます。

基礎疾患ごとにみた 新型コロナウイルス感染症の致死率



JAMA.2020 Feb 24;doi:10.1001/jama.2020.2648.
出典:厚生労働省,新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き・第1版 p6

日本のCOVID-19入院患者レジストリにおける 60歳以上を年齢区分の基準とした症例致命割合

年齢	60歳未満	60-64	65-69	70-74	75-79	80-
基礎疾患なし						
患者数	5879	304	304	215	171	141
死亡者数 (致命割合)	3 (0.1%)	5 (1.6%)	5 (1.6%)	8 (3.7%)	9 (5.3%)	18 (12.8%)
基礎疾患あり						
患者数	1988	472	554	654	553	1364
死亡者数 (致命割合)	20 (1%)	21 (4.4%)	40 (7.2%)	49 (7.5%)	71 (12.8%)	280 (20.5%)

出典: NIID国立感染症研究所, IASR Vol.42 p19-20; 2021年1月号

※致命率(致命割合、致死率)とは、特定の病気に罹患した人の集団のなかで、その病気が原因となって死亡した人の割合。

始した後の5年間は正の値を示す傾向があることがわかりました。またある企業では社員の健康状態から、健康が業務のパフォーマンスに与える影響を分析しました。「食事の量や内容について気を付けている」「良い睡眠がとれている」と答えた社員は、そうでない社員と比較して、仕事に取り組む姿勢が前向きであるという結果が出ました。

健康経営によって生産性や企業パフォーマンス向上を図り、社会に価値を提供していくためには、健康でいきいきと働く従業員が土台であることを忘れてはなりません。

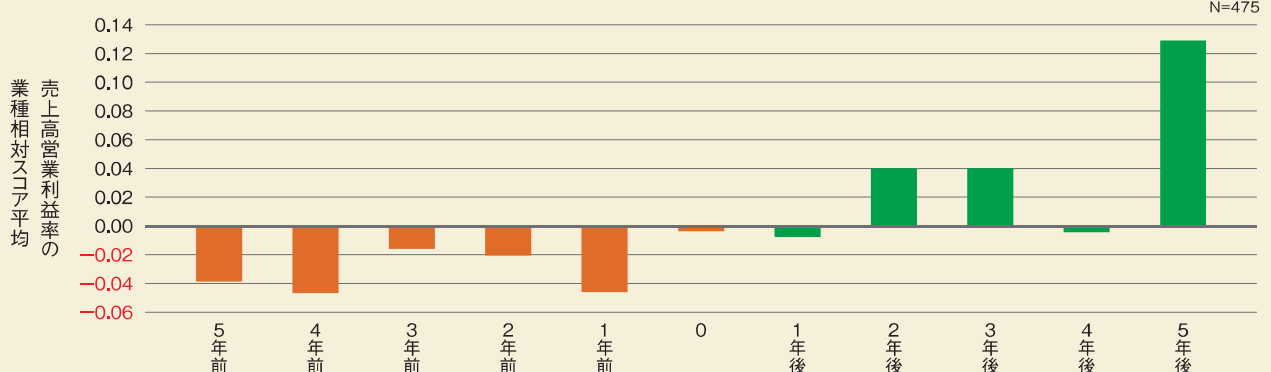
がん治療における早期発見の重要性

がんの発症は免疫力と深い関係があると考えられています。そして免疫力の低下はコロナ禍において、これまで以上に不安な要素となっています。一方で、がんは初期のうちに発見できれば治る病気であり、自覚症状のない段階で発見することで、身体の免疫力を維持し、感染症などへのリスクに備えることにつながります。

これまで難しかったがんの早期発見を可能にするPET-CT検査は一度にはほぼ全身を検査でき、従来の検査では発見が困難だったがんを早期に、高精度で発見できる画像診断装置です。

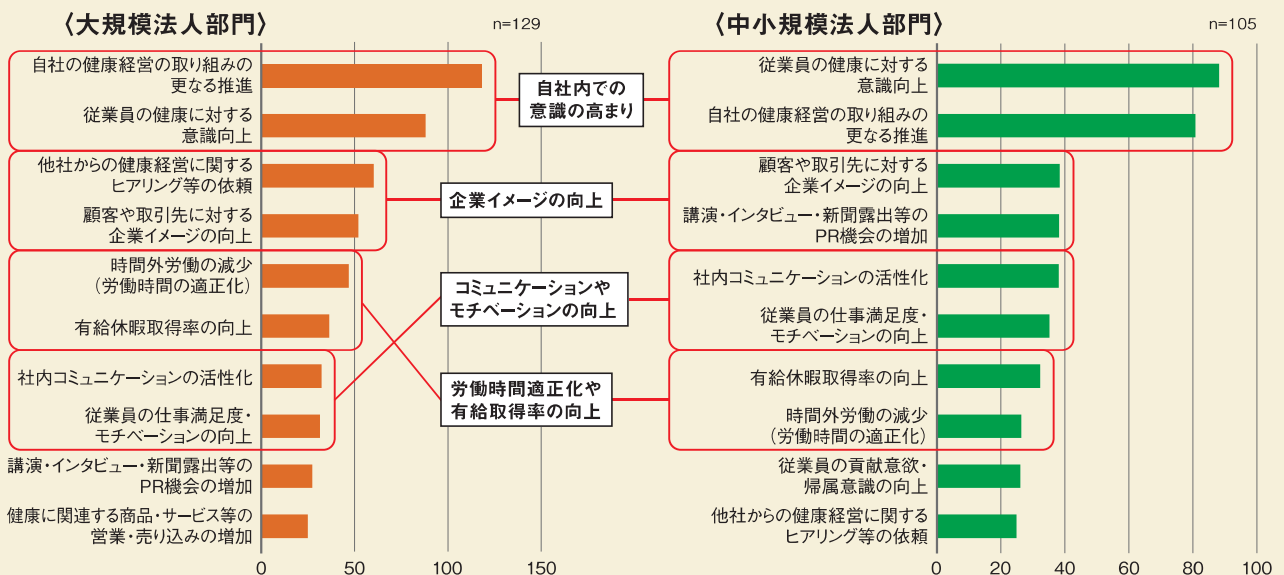
ウィズコロナ時代の健康経営で何よりも大切なのは、社員の健康をきちんと把握し、必要に応じてケアをすることです。まずは、早期に発見し、適切な治療を行うために、福井県済生会病院の健診とPET-CTを活用してはどうでしょうか。

健康経営と企業業績との関係性（健康経営開始前後の5年以内の売上高営業利益率の業種相対スコア）



（注）健康経営を始めた時点を中心とした前後の最長5年以内の売上高営業利益率の業種相対スコアの平均値。5年前より後に健康経営を始めた場合はサンプルは無いとする
出典：経済産業省ヘルスケア産業課「健康経営の推進について」（2020年9月）

健康経営優良法人2017認定以降の変化（健康経営優良法人2018認定法人へのアンケート）



出典：経済産業省ヘルスケア産業課「健康経営の推進について」（2020年9月）を加工して作成

企業で取り組む健康づくりをサポート PET-CT検査モニター募集!

当院は、健康づくりに取り組む企業を企画立案から全力でサポートします。2021年度も引き続きPET-CT検査をより多くの方に知っていただくために、お得な検査モニターを募集します。会員様限定の特別優待制度をぜひお試しください。

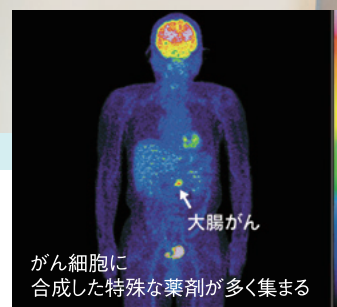
対象	40歳代経営者様、健康経営ご担当者様 ※1企業につき1名様まで
料金	PET-CT検査 45,100円 (税込) ※初めてモニターを受ける方 ※通常料金の半額

お申し込み・お問い合わせ

TEL 0776-28-8513 法人会PET-CT健診窓口

限定
10名様50%
OFF

- 検査着のままベッドで60分
- 副作用・苦痛なし
- 1回でほぼ全身のがんを発見



全身がひと目で分かるPET-CT

PET-CTがん健診コース

気になる部位や目的に合わせた健診コースをご用意。MRI・内視鏡などを組みあわせて、PET-CT検査では診断しづらい部分をカバーし、より念入りにがんを早期発見いたします。

PET-CTがんコース

所要時間 約7時間

通常156,200円→148,390円

画像検査と血液検査を組み合わせて、日帰りでがんを複合的に調べます。

主な
画像
検査

- ・PET-CT検査【全身】
一度にほぼ全身のがんを検査
- ・胃部内視鏡検査【食道、胃、十二指腸】
消化器専門医が胃の内部を検査
- ・骨盤MRI【骨盤、骨、膀胱、子宮】
骨盤および骨盤内を検査

主な
血液
検査

- ・腫瘍マーカー【前立腺がん、卵巣、乳、膵がん、胆のう、肝臓、肺】
がんに関する血液中の目印を検査
- ・ヘリコバクターピロリIgG抗体【胃】
胃がんの原因といわれるピロリ菌の有無を検査
- ・甲状腺ホルモン検査【甲状腺】
甲状腺の炎症、機能低下・亢進などを検査

胃部内視鏡＋PET-CTコース

所要時間 約5時間

通常99,000円→94,050円

PET-CTと胃部内視鏡検査を組み合わせることで、胃がんをしっかりと発見できます。

完全予約制

会員様限定割引 一般料金より5%OFF

社会福祉法人 済生会支部
福井県済生会病院

健診センター

〒918-8503 福井県福井市和田中町舟橋7番地1
TEL 0776-28-8513 (直通) FAX 0776-28-8520
https://www.fukui-saiseikai.com/health_check/

